

1.14 情報公開・説明責任

【評価項目 19-0-1】 財政公開

(必須要素) 財政公開の状況とその内容・方法の適切性

<2003年度に設定した目標>

1. 情報公開を統括する部署の明確化
2. 情報公開に関する規程の整備（学生及び学外からの開示請求への対応）
3. 個人情報保護法の施行（2005年4月施行）に向けた規程整備の促進

(現状の説明)

2004年5月12日付公布の「私立学校法の一部を改正する法律」により、2004年度決算から、すべての学校法人に対し、在学者その他の利害関係人からの請求に応じて一定の財務書類等を公開することが義務化された。本学においては、私立大学という公共性、社会性に鑑み、教育や研究内容の公開と同様に、財政内容に関しても情報の開示と説明責任を果たすことにより、社会の支援と理解を得ることが重要であるとの考えに基づき、既に30年以上前の1969年に“KG Campus Record”の発行を始めた。“KG Campus Record”は、本学における当該年度諸活動および計画を、予算あるいは決算をとおして本学構成員に公表すると同時に、本学の経営状況や財政状態について理解を得ることを目的に刊行している。最近でこそ、教育機関に対しても、情報開示、説明責任が強く求められているが、創刊当時は画期的な試みであった。その後もほぼ年2回の刊行（予算および決算）を続け現在に至っている。さらに、1999年度決算からは学生、教職員をはじめとする本学構成員のみではなく、広く一般にも公開するため同じ内容を本学ホームページにも掲載している。

また、今回の私立学校法の改正を受け、決算時の“KG Campus Record”は事業報告書の一項目「事業の概要及び財務の概要」として公開している。この事業報告書も、これまでの“KG Campus Record”と同様に、ホームページにも掲載している。
(<http://www.kwansei.ac.jp/top/finance.html>)

(点検・評価の結果)

全部署に“KG Campus Record”を配布することにより、財政状況を本学構成員に公開している。その中には学生も含まれているが、学部事務室等に配備することにより、自由に閲覧、入手可能であるため、公開の方法としては特段の問題はないと考えている。さらに、本学のホームページに掲載することにより広く社会一般に対しても公開しており、社会に対する説明責任の面からも方法としては十分なものである。内容的には、財務状況の概要、主な事業内容等はもちろん、学校法人会計特殊の説明にも簡単であるが触れており、一般的には問題ないと考えている。ただし、見やすい、分かりやすいという点から見れば、さらに改善する余地はあると思われる。

(改善の具体的方策)

学校法人に対して説明責任はより一層求められている現在、これまでの取り組みをさらに進めていくことが重要な課題である。学生・父母・社会等説明責任を果たす対象それぞれの視点にたった情報公開を行うこと、あわせて本学全体としての教育・研究のこれまで以上の情報公開の内容・方法など、具体化に向けて検討を進める。また、図表等を活用することにより、これまで以上に見やすく、分かりやすく改善を図る。

【評価項目 19-0-2】 自己点検・評価

(必須要素) 自己点検・評価結果の学内外への発信状況とその適切性

(必須要素) 外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性

(KG1) 組織・運営と諸活動の状況についての情報公開の適切性

(KG2) 社会に対する説明責任の履行状況

(KG3) 情報公開に関する規程と組織の整備状況

<2003年度に設定した目標>

1. 情報公開すべき内容の整理・点検とその確定
2. 自己点検・評価報告書のウェブ上での全面公開
3. 認証評価の評価結果のウェブ上での公開
4. 諸計画（AP・中長期計画など）のウェブ上での公開

(現状の説明)

本学は1991年の大学設置基準改正を機に自己点検・評価のあり方について検討を始め、大学自己評価委員会を設けて1992年度に初めての自己点検・評価を行い、1994年に正式に自己点検・評価報告書「関西学院大学白書 現状・課題と今後の展望」を刊行した。その後も、1997年、2000年、2003年と3年ごとに「白書」を刊行している。報告書は700部発行し、学内の各部局、全教員に配布するとともに、他大学、省庁、自治体などに配布してきた。また、学生への情報公開の意味からも学部等に必要な部数を送付し、事務室などで閲覧に供してきた。2000年度からは第1分冊（第1篇総括と課題、第2篇大学・大学院）の内容をウェブ上で公開している。

(<http://www.kwansei.ac.jp/hakusho2000/> <http://www.kwansei.ac.jp/hakusho2003/>)

また、本学は2003年に株式会社野村総合研究所による外部評価を受け、その報告書「関西学院大学 外部評価プロジェクト報告書」を発行した。同報告書自体は公表していないが、その概要を「関西学院大学白書2003 社会に開かれた大学改革」に17頁にわたって掲載しており、ウェブ上で見られるようになっている。

(点検・評価の結果)

自己点検・評価報告書である「白書」は学内外に配布しているが、ウェブ上では第1分冊のみで第2分冊（第3篇 学部・研究科・図書館・研究所、第4篇 資料）は掲載されていないので、完全に公開する必要がある。

また、基本構想からAP（アクションプログラム）、中長期経営計画、大学第3次中長期計画やその進捗状況などについても公表していく必要がある。

さらに、2006年度に認証評価を大学基準協会で受け、その評価結果が2007年3月に発表された際は、当然ながら評価結果をウェブ上で公表する必要がある。

(改善の具体的方策)

2005年度に作成している自己点検・評価報告書は、2006年3月に完成すると同時にウェブ上で全面的に公表することを予定している。大書になるため、学内外への配布はCDにする。

これを機に、基本構想やAP（アクションプログラム）、中長期計画などの諸計画、過去の自己評価報告書、外部評価の概要、過去の相互評価の結果などに加え、「新たな自己点検・評価」の仕組みの説明、評価指標データベースへのリンクなどを集約したウェブサイトを構築する（<http://www.kwansei.ac.jp/top/evaluation.html>）。当然ながら、2007年3月には認証評価の結果も掲載する予定である。